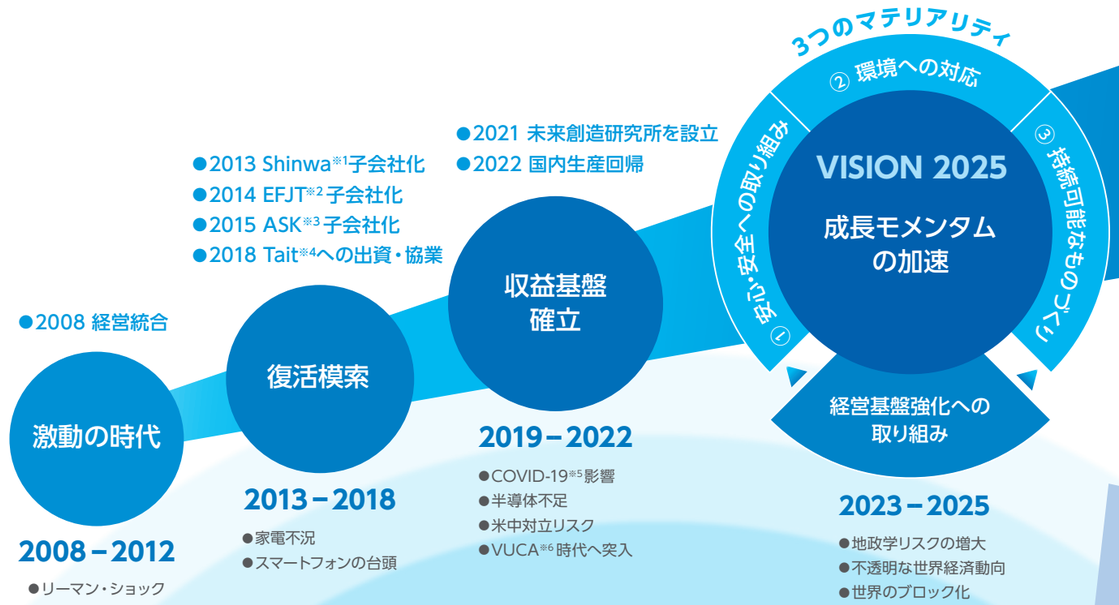
価値創造ストーリー　～中長期ビジョン ～

経営統合から現在に至る価値創造の歴史と目指すミライ

経営統合後に起こった苦難の連続を次々と乗り越えることで、強靭な経営基盤を構築。
2018年からは「将来を先読みし、稼げる収益基盤」を確立して、業績向上を果たしています。
デザイン思考で描くミライからバックキャストすることで、3つのマテリアリティを設定しました。
そして今、企業理念として「感動と安心を世界の人々へ」提供することを掲げ、3つのマテリアリティの解決によって、変化を先取りして未来を切り拓く「たくましさ」と「したたかさ」を併せ持つエクセレント・カンパニーへの飛躍と、企業価値の最大化を目指しています。

3つのマテリアリティ

1	安心・安全への取り組み	2	環境への対応	3	持続可能なものづくり



JVCケンウッドの強みである
映像・音響・通信
をデザイン思考で生かす。

バックキャスト

デザイン思考で描くミライ

- **人の感性で描く空想の世界**　デザイン・アート　暗黙知・主観的　感性価値など
- **起こり得るミライ**　デザイン問題解決・経験価値：事実や事象（変化の兆し）を掛け合わせ、想像力を発揮してさまざまな可能性を探索すること
- **現在の延長線上にあるミライ**　事実や事象が進化・進行した先を予測すること

※1：Shinwa International Holdings Limited、現JVCKENWOOD Hong Kong Holdings Limited
※2：EF Johnson Technologies, Inc.
※3：ASK Industries S.p.A.
※4：Tait International Ltd.
※5：新型コロナウイルス感染症
※6：Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の頭文字をとった言葉

価値創造ストーリー　～ 価値創造プロセス ～

「統合思考」に基づき、資本を適切に配分し、中・長期的な価値創造を意識した
意思決定と行動をグループ内に循環させることによって、持続可能性を向上させます。

短期・中期・長期の視点で未来を予測し、
「なすべきこと、足りないもの、捨てるべきもの」を整理して、将来図を描く。

INPUT 経営資本

財務資本
- 戦略投資：約350億円※
- 成長投資：約650億円※
- 総資産：2,994億円

※2023～2025年度の3カ年累計

製造資本
- 主要生産拠点数：9カ所
- 設備投資額：114億円※

※有形固定資産のみ

知的資本
- 研究開発費：174億円
- 特許保有件数：約6,500件

人的資本
- 従業員数（連結）：16,277人
- 年間総実労働時間：1,890時間/人

社会・関係資本
- 主要販売拠点数：18カ所
- 3つのブランド：KENWOOD JVC Victor

自然資本
- 総エネルギー使用量：561,589GJ
- 取水量：17万7000トン

適切かつ効率的な資源の配分

BUSINESS ACTIVITIES 事業活動

企業理念
感動と安心を世界の人々へ

企業価値の最大化

事業戦略　財務戦略　サステナビリティ戦略

M&T分野	S&S分野	ES分野
モビリティ&テレマティクスサービス分野	セーフティ&セキュリティ分野	エンタテインメントソリューションズ分野

利益ある成長　ESG強化　社会課題の解決

社会の潮流
- 新技術によるビジネスモデル革新
- 地政学リスク、緊張関係の高まり
- 不透明な世界経済動向
- デジタル化の加速
- 気候変動、自然災害、カーボンニュートラル
- サプライチェーンの混乱

リスクと機会を認識し、適切に意思決定（健全経営）

OUTPUT 事業成果

中期財務指標

	2025年度目標	2030年度目標
ROE	10%以上	安定的に10%以上
ROIC	9%以上	10%以上
売上収益	3,700億円以上	4,000億円以上
事業利益率	5%以上	5～7%
営業キャッシュ・フロー	約900億円※	

※2023～2025年度の3カ年累計

マテリアリティ（非財務）

① 安心・安全への取り組み ⇒P.32
- 交通事故の抑制・抑止
- 安心・安全なまちづくり

② 環境への対応 ⇒P.34
- 気候変動への対応
- 環境負荷の低減

③ 持続可能なものづくり
- 責任あるサプライチェーン ⇒P.38
- ものづくり改革 ⇒P.40
- イノベーションの加速 ⇒P.42

経済価値と社会価値の持続的な創出

OUTCOMES 社会価値の創造

私たち一人ひとりは、「感動」と「安心」につながる
多様な豊かさと価値観を、あらゆるステークホルダーの
皆さまと分かち合っていきたいと思います

「たくましさ」「したたかさ」を併せ持つ
エクセレント・カンパニーへの飛躍

先進・安全技術の進化を通じた社会の暮らしにおける安心・安全の実現

CO_2排出量を削減し、カーボンニュートラルに貢献

自社および調達先などでの資源の有効利用を促進

独創的かつ多様な価値を創出し、人々に豊かさと感動を提供

経営資本強化へ向けて投下資本を再設定

バックキャストで、将来図を見据えた　戦略を実行し、価値創造の循環を図る

(＋)(－) 正負のアウトカムを整理して投下資本を再検討